

介護記録研修（記録全般の質の向上を目指す）

記録の充実には、個々の職員の記録の能力向上、書式の改善、体制整備が重要です。しかし、どれをとっても一朝一夕に成果を出すことはできません。

本研修では、記録全般について事業所のコンサルテーションを行う講師が担当し、如何に記録の充実を図るか、事例などを活用しながら実践的な方法をお伝えします。

『いつでも誰でも文章を一回読んで理解できるような記録』をするにはどのようにすると良いのか、具体的かつ理論的に学習し、理解を深めます。今回の研修に参加することで、分かりやすい記録に劇的に変化できるものと信じております。

2月14日 9:30~16:30 11,000円

ネット配信加入者は半額で受講可！

カリキュラム		会場での受講が難しい方に朗報！ 受講費（11,000円）のみで、本研修会をインターネットで受講することができます。研修資料、修了テスト、受講証明書もダウンロード可能！ ※受講期間（お申込み日より1ヶ月）LIVE配信ではないので、お好きな時に（期間内）何度でもご視聴いただけます。インターネット受講をご希望の方はチェックのうえ、下表に必要事項を明記してお申込みください。 <input type="checkbox"/> インターネット受講希望
I、記録の目的	①記録の目的 ②記録が薄くなる背景 ③記録の構造 ④記録を書けない本質	
II、記録の基本	①記録に求める基本的要素 ②記録の形態 ③記録を深めるツールや方法	
III、記録の実際	①事例から学ぶ記録の確認のポイント ②事例から学ぶ記録の注意事項	
IV、記録の実際	①事例から学ぶ書式の確認のポイント ②事例から学ぶ書式の注意事項	
V、個人演習	①個人演習 ②解説	
VI、記録の体制	①記録を活かす基礎知識 ②サービス向上に繋げるための具体的な取り組み	
VII、記録のまとめ	①記録のまとめ ②取り組みの優先順位	

講師 神 智淳（じんとみあつ） 老年学修士 お茶の水ケアサービス学院学院長 日本健康医学会 監事
 福祉サービス第三者評価者、介護サービス情報公表の調査員指導者。記録を中心として給付ソフト会社及び介護施設のコンサルティングを行う。福祉介護テクノプラス編集委員、介護・生活支援ロボット普及推進協議会アドバイザー。厚生労働省福祉用具サービス計画書のガイドライン作成の委員等多数歴任

受講生の声 ●記録の書き方がとてもわかりやすく、取り入れやすい内容でした。●国語力がなくても記録の力を簡単に高めることができることを知りました。すぐやってみたいです。●組織でどう環境を整えるかが大切だと実感しました。●記録媒体までの導線の長さまでは意識していなかったので見直してみようと思いました。●何のための記録なのかということを再認識した。●記録の取り方・まとめ方・重複している書類の見直しなど参考になることばかりでした。●記録を良くすることがケアの質の向上につながるということがよくわかった。

受講料 11,000円（税込）

会場 広島県健康福祉センター 広島市南区皆実町1-6-29 市内電車 南区役所前徒歩3分

対象 どなたでも受講可能

申込方法 ファックスでのお申込になります。下記の申込書式を記入の上、ファックスを送信願います。受付後確認のファックスを致します。

支払方法 受講案内を送付致しますので、受講案内が届いた後お振込み願います。

問合せ先 お茶の水ケアサービス学院 TEL 03-3863-4000

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	事業所名	ネット配信の加入の有無	有・無
住所	(〒 -) (事業所・自宅)			
TEL	FAX	e-mail		

※お申し込み後、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。
 また、申込日に拘らず1/31以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。
 ※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。